

基本項目	詳細項目	改革前						改革後						第三者評価		
		課題としていたこと	解決方法	取組内容	優先度(A~C)	必要予算	達成目標	進捗度	取組の結果できたこと	達成度(A~E)	課題事項・問題点	住民から見た変化	今後の取組方法	達成度	講評	
情報公開	本会議以外の会議の積極的公開	委員会活動が市民に見えにくかった。	委員会の活動状況が常に見えるようにする。	会議要点録をインターネットで公開する。	A	0円	平成26年12月	継続	議会ホームページ上で、一部委員会の会議要点録を公開した。	C	常任委員会の会議要点録が未公開となっている。/会議要点録がどこにあるか探しにくいレイアウトになっている。/議会ホームページ上にアクセスカウンターがないため、どのくらいアクセスがあるかすぐ分からない。	いつでもどこでも誰でも会議要点録を見ることができるようになった。	常任委員会を含め、全ての委員会の会議要点録の公開を進める。/見やすい議会ホームページのリニューアルを検討する。			
				会議を録画し、インターネットで配信する。	A	見積中 (PCウェブカメラ1台、6,000円程度)	平成26年12月	継続	試験的にPCウェブカメラ1台を使い、会議を録画した。	C	音質・画質ともに視聴できるレベルまで上げなければ公開できない。	—	先進議会で行われている撮影方法や公開方法を研究する。			
				行政視察の事前事後の活動状況をインターネットで公開する。	A	0円	平成26年12月	継続	議会ホームページ上で、視察前には視察行程表、視察後には視察結果報告書を公開した。	B	視察行程表だけではどのように視察先が決定したのかまで見えない。/視察結果報告書が文字ばかりで見にくい。	行政視察の行き先が事前に誰でも分かるようになった。/どのような視察が行われたのか視察後に詳細内容を知ることができるようになった。	視察先を協議する場を委員会協議会から委員会に改め、視察先の決定プロセスまでを公開する。/視察結果報告書は文字だけではなく、映像画像も取り入れながら工夫し、分かりやすい報告書を作成する。			
				事前に委員会開催日時や案件をインターネットで周知する。	A	0円	平成26年12月	継続	議会事務局ツイッター上で、委員会の開催日時を事前周知した。	B	委員会の開催日時しか事前周知していなかったため、傍聴者が増えなかった。	委員会の開催日時を事前に誰でも分かるようになった。	委員会の開催日時だけでなく、その会議の主な議題案件など傍聴したくなるよう工夫した情報発信を進める。			
				多くの委員会を傍聴できるよう、各常任委員会の開会時間や会議室を調整する。	要検討	円	年 月	未着	—	E	—	—	—			
	審議資料等の公開	どんな資料を基に議論しているのか市民に見えにくかった。	審議資料をインターネットで公開する。	審議資料を事前にデータ化しておき、できるだけ審議前に公開する。	要検討	円	年 月	未着	—	E	—	—	—			
	政務活動費に係る報告書の公開	政務活動費の使途や活動内容が市民に見えにくかった。	活動報告書をインターネットで公開する。	活動報告書はデータ化しておき、速やかに公開する。	A	0円	平成27年3月	継続	議会ホームページ上で、会派ごとの活動報告書を公開した。	B	活動報告書が文字ばかりで見にくい。	政務活動費を使ってどのような活動がされているか誰でも見ることができるようになった。	政務活動の内容・成果を分かりやすくするため、活動画像を報告書に添付する。			
			収支報告書(領収書添付)をインターネットで公開する。	収支報告書はデータ化しておき、速やかに公開する。	A	0円	平成27年3月	未着	—	E	—	—	—			
	住民参加	かだつて会議の実施	会議の準備品や飲食に費用を要する。	のぼり旗を公費支出とし、その他費用は政務活動費から按分拠出する。	左記同様	A	見積中 (のぼり旗10枚、3,000円程度)	平成26年12月	継続	のぼり旗の代用品を自前で作成した。/その他費用は議員互助会費から支出した。	B	参加記念品として、オリジナルのかだつて会議メンバーバッジを作成したい。	—	かだつて会議メンバーバッジを作成するなど、楽しい会議となるよう準備品を工夫する。		
			ファシリテーションスキルを持っていない。	ファシリテーションスキル習得のための研修会を受講する。	全議員を対象とした研修会を開催する。	B	150千円	平成27年6月	継続	市が主催したファシリテーション研修会に一部議員が参加した。	C	一部の議員だけ受講し、全議員が受講できなかった。	—	全議員が受講できるよう研修会を開催する。		

議会の機能強化	議決事件の追加	監視機能高めるとともに議決責任を果たすため、議決事件を追加したい。	基本計画、姉妹都市締結、都市宣言の議決事件追加の必要性について検討を進める。	議会改革推進会議において検討を行ったうえで、当局協議を進める。	B	0円	平成27年8月(現任期中)	未着	—	E	—	—	内容・重要度を勘案したうえで、基本計画、姉妹都市締結、都市宣言の議決事件追加の必要性について研究を進める。		
	通年会期制の導入	議会機能を高めるため、通年会期制を導入したい。	通年会期制を導入するための条例整備を進める。	議会改革推進会議において条例化を図ったうえで、当局協議を進める。	A	0円	平成26年12月	完了	久慈市議会の会期等に関する条例の制定により、平成27年4月1日を開会日とする通年会期が始まった。	A	通年会期制のメリットである委員会活動の充実など、効果的な制度運用を図る必要がある。	年間を通して会期中となったことで、請願・陳情が提出しやすくなる。	今後、通年会期制を運用していくなかで出てくる課題の整理を行う。		
	議案説明会等の開催	議案に対する理解を深めるとともに共通認識をもてるような説明会にしたい。	定期的に説明会を開催できるようにする。	説明会の事前準備等の省力化を図るため、説明会をICT化する。	A	0円	平成27年3月	継続	議案に対する事前勉強が可能となったことで、内容理解をより深めて審議に臨むことができた。	B	説明会で用いている紙資料を廃止し、ICT化への完全移行を図っていく必要がある。	議案審議がさらに深まったことで、住民への議決責任・説明責任に寄与することができた。	説明資料のデータ化・クラウド化を進めていくため、資料内容の簡素化や説明スタイルについて当局と協議する。		
その他	議員の政治倫理	政治倫理条例を制定している他議会もあり、検討を進めたい。	条例・規程化の必要性について検証を進める。	先進議会等の資料をもとに、政治倫理についての勉強を行う。	B	0円	平成27年8月(現任期中)	継続	—	E	—	—	どのような事案が議員倫理に反するのかな等、先進議会等の資料をもとに、政治倫理についての勉強を行う。		
	議員定数のあり方	今後の議員定数のあり方について結論を導きたい。	結論を導くための議論を深める。	推進会議としての結論を導いたうえで、議員全員協議会で決定する。	A	0円	平成26年12月	※ 議員定数に関する調査特別委員会設置に伴い、詳細項目から削除する。							
	議員報酬等のあり方	今後の議員報酬等のあり方について結論を導きたい。	結論を導くための議論を深める。	推進会議としての結論を導いたうえで、議員全員協議会で決定する。	A	0円	平成26年12月	継続	議員全員協議会において定数報酬等研究報告書の勉強会を行い、それぞれ認識を深めた。	D	議員報酬は議員定数と一体的に議論を進めていく必要がある。	—	議員一般選挙後において、改めて項目出しするかどうか検討する。		
	政務活動の充実	政務活動費が少額のため、十分な活動が行えない。	政務活動費の増額を行う。	増額にあたって市民説明の機会を設けたうえで、条例改正を行う。	A	1,440千円	平成27年3月	完了	条例改正により、議員一人当たり年額60,000円から120,000円に増額した。	A	活動費の使途として県外視察だけでなく、幅広い活動費にしていく必要がある。	—	使途透明性を高めるため、活動報告は年度末を待たずに行う。さらに市内調査も積極的に行う。		
	会派室の充実	会議室兼用となっており、会派専用になっていない。	会派専用で利用できる部屋を確保するための手法を検討する。	庁舎車庫棟の完成を見込んで、議会棟の専有化について当局協議する。	A	0円	平成27年3月	継続	議長から当局に対し、議会棟の専有化を打診した。	D	議会開催中は委員会室と併用となるため、会派室としての専有化が困難となっている。	—	委員会審査や会派内議論に活用するため、各部屋にホワイトボードを設置する。		

*「優先度」 A：高、B：中、C：低

*「達成度」 A：全て（100%）、B：概ね（75%）、C：半分（50%）、D：一部（25%）、E：未着（0%）